

ながの村自治振興会



ながの村自治振興会は、旧永野小学校舎を改装してできた「ふれあいセンター永野村」を拠点として地域づくりを推進するながの村を中心とした自治振興会です。

これまで、ながの村では、県内各地からの家族連れ等の受け入れ、幻の鍾乳洞を利用したイベント、花木の植樹、観光案内板の設置や下宿駅の岩壁を登るクライマーと協働した清掃活動など積極的に外部との交流を図ってきました。

毎月発行される広報誌は地元だけでなく、町外の出身者へも発送され、ふるさとの暮らしがりを垣間見る良い機会となっています。

近年、企業の事前研修として中国人研修生を招き、十日から一カ月の滞在期間中、長寿会や子ども会とのクラウンドゴルフや太鼓を交えた交流も行っています。

地域の高齢化にもなう後継者の問題など課題はあるものの、村まつりや運動会といった行事と共に福祉活動を充実させ、世代や地域の壁を越えた親睦を深めていく努力が続けていきます。

高蓋自治振興会

高蓋自治振興会は、約三百戸、千人で十三班、四部会で活動していますが、振興会が一体となった行事の取り組みは盛況なことから、春の地区民運動会以外は各班又は複数班の合同、同好会主催の行事を積極的に任せており、各団体ごとに実施した行事には振興会から一定の助成金を交付し、各班等で積極的な取り組みをしています。

一昨年は、地元有志で「やまのみ劇団」を結成し、芝居公演を行い、現在では他振興会への出張公演も実施しています。

昨年は、実行委員の手作りのイルミネーションを高蓋公民館に隣接し設置しました。

年々増えつつありますが、希望者には若干の負担金を頂いて点灯しており、明るい町づくりに貢献しています。

昨年度から住みよいまちづくり部員が中心になって壮年者・高齢者を対象としたサロン事業を実施し、喜ばれています。

今後とも地域住民の生活に視点をのいた事業に取り組んで参りたいと思っています。



自治振興会紹介

